

2025年 7月 22日

## ナタリ・ドラートル フランス観光担当大臣、3日間の訪日プログラム 公式会談と旅行業界トップとの意見交換を実施



在日フランス大使公邸で行われたレセプションにて、スピーチを行うナタリ・ドラートル観光担当大臣

報道関係各位

2025年7月14日から16日までの3日間、フランスより観光担当大臣ナタリ・ドラートルが来日し、大阪、広島、東京にて、大阪関西万博フランスパビリオンでの式典への参加のほか、複数の公式会談や旅行業界企業トップとの意見交換に参加いたしました。



### ナタリ・ドラートル担当大臣の訪日スケジュール

7月14日（月）

- ・ 大阪万博フランスパビリオンで行われた革命記念日の特別レセプションへ出席。同館のアンバサダーを務めるフランスラグビーのスター選手 アントワーヌ・デュポンと共に出席

7月15日（火）

- ・ 広島市長 松井 一實氏を表敬訪問
- ・ 平和記念資料館を見学、原爆投下 80 年の節目にあたり、原爆死没者慰霊碑へ献花
- ・ 広島県副知事 横田美香氏、広島県観光連盟 山邊昌太郎氏と昼食

7月16日（水）

- ・ 旅行業界の企業代表者と昼食会
- ・ 国土交通省を訪問、国土交通大臣政務官 高見康裕氏、観光庁国際観光部長 中野 岳史氏と会談
- ・ 複数メディアのインタビュー対応
- ・ フランス大使館公邸にて大臣来日記念レセプション

## レセプションにおける大臣スピーチ要旨

### 1) 日仏間の友情を認識

大阪万博におけるフランスパビリオンが盛況であるのは、日本におけるフランスへの興味の高さであると実感した。また、フランスパビリオンのテーマである「愛」が示すように、同館の展示で、日仏両国の世界遺産であり、かつお互いが姉妹提携する宮島とモンサンミッシェルが並んで展示された様子に、両国の愛を深く感じた。

### 2) フランスにおける観光業のポテンシャル

2024 年、フランスを訪れた国際旅行者の数は 1 億人を越え、世界ナンバーワンの地位を保っている。一方、国際観光収入は 714 億ユーロで世界 4 位。旅行者がより長期間フランスに滞在し、消費額を増やしてくれることに期待している。そのため、フランスの観光コンテンツを刷新しつづける必要がある。

### 3) フランスが提供する観光素材や体験のアップデート

フランスはとくに旅のコンテンツとして、食、サヴォワールフェール（職人の技や手仕事）、文化遺産への投資に力を入れている。食をフランス旅行の理由に挙げる人は国外からの旅行者の 3 分の 1、文化遺産への訪問を理由に挙げる人は同じく 8 割にのぼる。

なお、自身もワイン産業に携わる大臣は、フランスのワインツーリズムへの投資も強調した。食と一緒にされがちなテーマだが、それだけで扱うべき重要な分野である。現在、年間 1200 万人がフランス中をワインツーリズムを目的に訪れており、この数字はこの 8 年で 20%増加している。

日本の旅行会社経営陣との会合では、日本人旅行者のニーズに合った旅行商品のアップデートの重要性を認識した。たとえば、日本人旅行者はダブルでなくツインの部屋を好むなどの情報は貴重な意見である。

最後に、大臣は、日本人旅行者のフランスへの送客需要に応えるには、航空路線の便数を十分に確保する必要があり、現在の座席数の不足に対応することが課題であると述べた。

### 4) 2024 年パリ五輪から 2030 年の冬季五輪へ

フランスは、2024 年パリ五輪のレガシー、とりわけアクセシビリティ（バリアフリー）や安全性の面での成果を活かし、2030 年冬季オリンピックの準備を進めたいと考えている。

日本人旅行者から寄せられた期待を踏まえ、とくにフランスの宿泊施設のグレードアップを促進し、高級ランクのホテルの充実を図る。



記者の質問に答える大臣



インタビュー会場での大臣。左はフィリップ・セトン駐日フランス大使、右はアクセル・ズリビ大臣補佐官



インタビューはフランス大使公邸で行われた



(左から右) ジャン=クリストフ・アラン フランス観光開発機構 在日代表、フィリップ=セトン駐日フランス大使、ナタリー・ドラートル 観光担当大臣

© Atout France

当リリースのお問合せ

フランス観光開発機構 広報担当 増田真由美 [mayumi.masuda@atout-france.fr](mailto:mayumi.masuda@atout-france.fr)